

平成27年度第2回ISO/TC46国内委員会
議事録

1. 日時 : 平成27年12月17日(月) 14時00分～16時00分

2. 場所 : 情報科学技術協会会議室

3. 出席者 : 委員長代理 宮澤 彰 国立情報学研究所名誉教授
永田 治樹 筑波大学名誉教授
田良島 哲 国立博物館
大塚 奈奈絵 国立国会図書館
斉藤 隆行 科学技術振興機構
原田 智子 鶴見大学
植村 八潮 電子出版政策・流通協議会
中野 茂 日本図書館協会
オブザーバ 仲谷 文雄 富士ゼロックス
オブザーバ 小出 啓介 経済産業省
オブザーバ 岡田 光浩 三菱総研
協会会長 時実 象一 情報科学技術協会
事務局 光富 健一 情報科学技術協会

(敬称略・順不同)

4. 配布資料 :

- ・平成27年度ISO/TC46/SC9国内委員会第1回委員会議事録
- ・平成27年度社会ニーズ(安全・安心)・国際幹事等輩出分野に係る国際標準化活動実施計画書
- ・平成27年度経済産業省委託事業における国際標準化進捗状況(平成27年11月1日時点)
- ・平成27年度社会ニーズ(安全・安心)・国際幹事等輩出分野に係る国際標準化活動における調査活動の報告(菅野育子)
- ・International Library Item Identifier 国際図書館資料識別子(ISO 20247)開発活動報告書
- ・WG1の設置について
- ・前委員会(2015/7/6)以降のISO/TC46投票済案件
- ・ISO/TC46 2016 plenary meeting
- ・平成27年度成果報告書目次案と作業分担案について

5. 全会議事録の確認

前回議事録の確認があり、了承された。

6. 議 事 :

議事に先立ち、菅野委員長が病気のため、宮澤委員が委員長代理を務めることになったとの報告があり、了承された。

1) 平成27年度計画の進捗状況について

1-1) デジタルアーカイブの利活用に関する国際標準化

- ・この標準化の趣旨は、デジタルコンテンツの著作権状態と利用条件をレベルに分け、その記述内容と記載位置を定める標準を開発することである。
- ・今年は1年目の準備期間であり、来年の7月くらいにNWIPとしてISO/TC46に提出することを目標として準備を行っている。
- ・担当委員が米国にてISO/TC 46/SC 9の事務局との会見を行い、次回の総会議題に加えることの了承を得る予定である。
- ・また当初の事業計画と実施状況が乖離しているため、リカバリー日程やプランを早急に検討するという事も決議された。
- ・本年12月までに以下の事を行った。

7月30日に、欧米におけるデジタル環境下のコンテンツ二次利用に関する著作権問題に関する有識者へのインタビュー調査を行った。

ISO/TC46 メンバーへの日本提案に関するプレゼンテーション及び情報交換を次の通り行った。

- ・9月4～5日 国立フィンランド図書館で ISO/TC46/SC4 議長である Juha Hakala 氏と意見交換を行ない、デジタルアーカイブ二次利用に関する具体的な対応について知ることができた。
- ・9月8日 ロンドンの国際 ISBN センターで、ISO/TC46/SC9 議長の Stella Griffith 氏へのプレゼンテーションと情報交換を行い、次年度 SC9 総会の議題として日本提案のプレゼンテーションを明記したいとのことであった。
- ・9月10日 英国図書館で、英国図書館 Rob Smith 氏ほか4名と情報交換を行い、日本提案に対して、ISO レベルでの二次利用に関する共通認識が今求められており、各国での対応を取りまとめる国際標準化をぜひ進めてほしいとの現場からの声を、直接受けることができた。

1-2) デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子

国際図書館資料識別子 (IS020247) 開発について以下の説明があった。

- ・2014年12月1日に NWIP が承認。2015年1月19日に INFOSTA ホストに国際 WG 用メーリングリスト開設。2015年2月6日に TC46/SC9/WG13 が設置され、プロジェクトリーダーは宮澤 (日本)、参加国は、日本、米国 (2名)、カナダ、イタリア、ケニア。2015年9月4日に WD が完成し、secretary に送付。現在、CD 投票待ちである。
- ・担当委員が米国にて ISO/TC 46/SC 9 の事務局との会見を行い、次回の総会議題に加えることの了承を得る予定である
- ・普及活動について、「カレントアウェアネス」に記事を投稿することになった。

2) デジタルアーカイブ利活用のための記述に関する標準化委員会 (WG1) の発足について

宮澤委員長代理より、WG1 設置について以下の説明があった。

- ・ 任務は、NWIP の準備をし、国際 WG での議論に対応する事である。
- ・ 期間は WD 完成まで。
- ・ 現在メンバー及びリーダーについて検討中である。。
- ・ また、追加委員募集のために活動の趣旨や期間などを記したレターを発行することが決議された。

3) 前回委員会以降の ISO/TC46 投票報告

事務局より、前回委員会 (2015年7月6日) 以降、以下の11件の投票案件があり、投票を完了したとの報告があった。

ISO 214:1976 (vers 6) Documentation -- Abstracts for publications and documentation

ISO 233-3:1999 (vers 3) Information and documentation -- Transliteration of Arabic characters into Latin characters -- Part 3: Persian language -- Simplified transliteration

ISO 843:1997 (vers 4) Information and documentation -- Conversion of Greek characters into Latin characters

ISO 2145:1978 (Ed 2, vers 5) Documentation -- Numbering of divisions and subdivisions in written documents

ISO 7154:1983 (vers 5) Documentation -- Bibliographic filing principles

ISO 9984:1996 (vers 4) Information and documentation -- Transliteration of Georgian

characters into Latin characters

ISO 7098 -- Information and documentation - Romanization of Chinese

ISO/NP 8 Documentation -- Presentation of periodicals

ISO 5127 -- Information and documentation - Foundation and vocabulary

TC46 Consultation on nomination of SC8 new Secretariat

Call for P-member bodies to participate in ISO 3166/MA

4) 各 SC の活動状況報告

SC8 永田リーダより以下の報告があった。

- ・ 10 月 13～16 日にオーストリア・ウィーンで国際会議が開催され、WG2(国際図書館統計)、WG4 (図書館パフォーマンス指標)、WG10 (図書館インパクトアセスメントの方法と手順)、WG11 (国際博物館統計)、WG12 (国際アーカイブ統計) の各 WG とプレナリーが開かれ、決議案が出された。
- ・ SC8 の事務局がドイツの DIN から韓国の KAT (技術標準院) に変更となった。

5) 2016 年 ISO/TC46 ニュージーランド総会(2016/5/9-13)について

委員長代理より、以下の報告があった。

- ・ 2016 年 5 月 9 日から 2016 年 5 月 13 日にわたって、TC46 総会をニュージーランドのウエリントンで開催されることになった。次年度の予算が決定し次第、派遣委員を決定する。

6) 平成 27 年度成果報告書について

事務局より、以下の報告があった。

- ・ 平成 27 年度成果報告書の三菱総研への提出期限は、2016 年 2 月 29 日であるため、委員長、各リーダに担当箇所の原稿の執筆をお願いし、2016 年 1 月 29 日までに、送付してもらいたい。
- ・ 成果報告書の提出は、2 月 19 日を予定している。